

山や崖、川や水路には

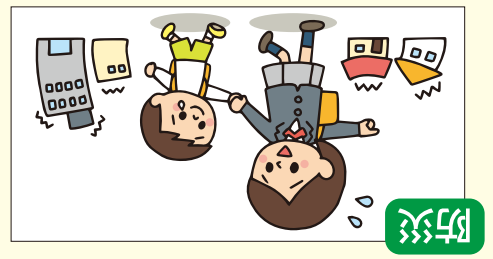
答えはこちらから

QRコード

大雨が降ったら

地震が起きたら

場所に身を寄せる



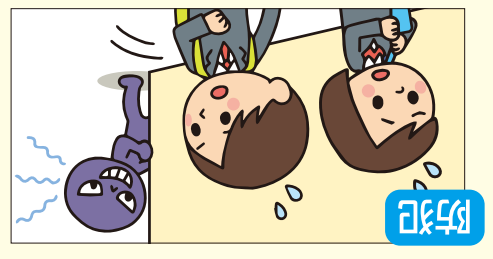
①すぐに

②大きな声で

③必ず警察に通報し、学校にも連絡する。

知らない人がついてきたり、連れていかれそうになったら

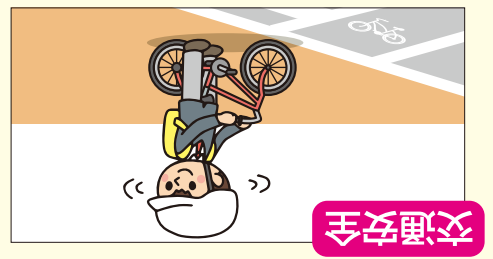
誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所には



歩いているときだけでなく、自転車に乗っているときも

を忘れないために、こういう場面で自分の行動が危険なものとなるのか、日頃から考えておこう。

※自転車は「車の仲間」です。自分が「加害者」とならないように、交通ルールを守りましょう。



どうすれば安全に登校(生活)できるかな?

3 自分の安全を守る方法を身に付けよう!

考えてみよう! ~中学生のみなさんへ~

避難所の様子を見てみよう
(たかつき安全ノートP.36)

避難所は、災害発生時に自宅で生活できなくなった被災者が一定期間過ごすための場所です。避難所での生活は普段の生活とは大きく異なり、さまざまな制限を受け入れて生活しなくてはなりません。そのため、ルールを守り、役割分担をして助け合うことが大切です。避難所生活の様子について考えてみましょう。

Q1. あなたの避難所はどこですか。

Q2. 災害発生時、避難所への避難が必要なのはどのような状況のときでしょうか。

Q3. 普段の生活と避難所での生活を比べてみましょう。

	普段の生活	避難所での生活
食事		
睡眠		
衛生面		

(衛生面…トイレ、お風呂、ゴミの処理など)

セーフティボランティアさん

通学路や校門のちかくで、みんなが安全に学校に通えるよう見守ってくれています。緑のベストや腕章が目印だよ。

「こども見守り中」の旗

みんなを見守ってくれている人が、街中にいることを知らせてくれています。たくさんの人に旗を掲示してもらえたら、地域の安全安心にもつながるね。

地震や大雨が発生したときに、状況が変わりやすい場所

大雨

地震

例えば…

- 古く、手入れがなされていない住宅の側
- 古びていたり、高さのあるブロッコリー塀の側
- 崖の近く
- 河川敷や水路沿い

防災

誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所

例えば…

- 人通りの少ない道路やトンネル
- 人気のなく、外から見えにくい公園や公衆トイレ
- 落書きやゴミがそのままにされている場所
- 空き家と思われる住宅

防犯

「飛び出し」が発生しやすい場所

例えば…

- ブロッコリー塀や自動販売機、草木などがあり、見通しが悪い交差点
- 信号機のない横断歩道
- 歩道がない道路、お店や駐車場沿いの道路
- 車と車の間

交通安全

どんな危険があるのかな?

1 校区の危険箇所を知ろう

校区安全マップの使い方



2 自分の校区を確認しよう



1 防犯

人通りが少なくなる時間帯がある。周りから見えにくいところがある。

3 交通安全

せまい道で、車や自転車の交通量が多い。

2 交通安全

信号待ちをする場所がせまく、自転車の通行量も非常に多い。信号待ちの際も注意が必要。

4 防犯

人通りが少ないときや、周りから見えにくいところがある。

5 交通安全

登校時、踏切の開閉時間が短い時がある。せまくて、自転車の通行量が多い。

6 防災

水路があって危ない。水路には入らない。

7 交通安全

駅へ向かう自転車がスピードを落とさずに通過する。

8 交通安全

横断歩道を渡る時にJR側から車が来ることがある。

9 交通安全

登校時、踏切の開閉時間が短い時がある。

10 交通安全

踏切が開かないときの迂回路として使う。歩ける場所がとてもせまく、車の交通量が多い。

20 交通安全

車の通り抜けが多い。坂道でスピードが出やすく、見通しも悪いため飛び出し注意。

19 防犯

夜間（夕方）人通りが少ないため注意。

18 交通安全

交通量が多く、スピードを出して通る車が多い。横断の際、注意が必要。

17 防犯

夜間（夕方）人通りが少ないため注意。

11 防犯

夜間（夕方）人通りが少ないため注意。

12 防犯

夜間（夕方）人通りが少ないため注意。

13 交通安全

車の通り抜けが多い。

14 交通安全

歩行者専用道路に進入する車が多い。

15 交通安全

交通量が多い。横断の際、注意が必要。

16 交通安全

登下校時、車やバイクの交通量が多い。横断の際注意が必要。

X	交番
〒	郵便局

地震発生時の避難場所 ()

